

# ■国保料の「賦課限度額」及び「低所得者に対する軽減判定所得」の見直し

## I 賦課限度額の改定

中間所得層の被保険者の負担を軽減するため、保険料賦課限度額の引き上げを行う。

賦課限度額	基礎賦課限度額（医療分）	65万円	⇒	変更なし
	後期高齢者支援金等賦課限度額（支援金分）	22万円	⇒	<u>24万円（+2万円）</u>
	介護納付金賦課限度額（介護分）	17万円	⇒	変更なし
	合計	104万円	⇒	<u>106万円（+2万円）</u>

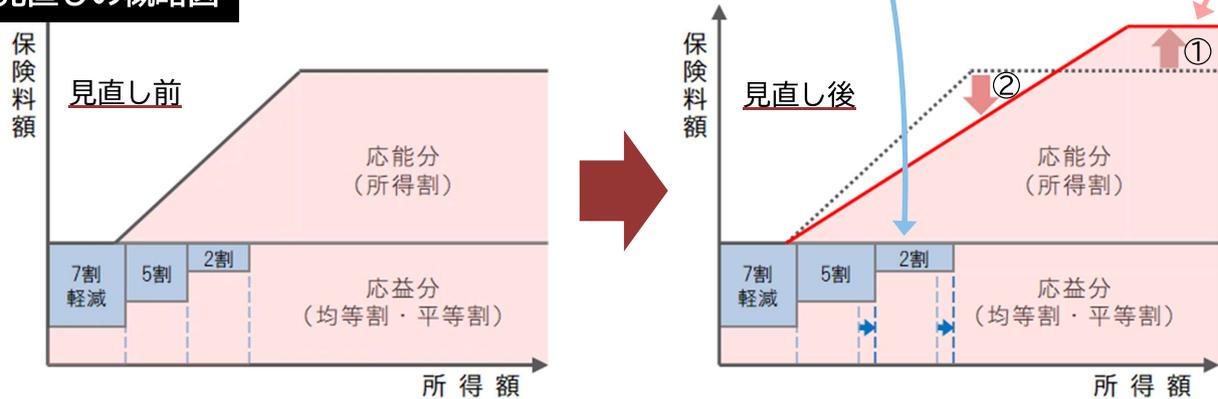
## II 低所得者に対する軽減判定所得の改正

経済動向等を踏まえ、応益分保険料の5割及び2割軽減について判定所得の引き上げを行う。

軽減判定所得	7割	43万円	⇒	変更なし
	5割	43万円 + 29万円 × 被保険者数	⇒	43万円 + <u>29.5万円</u> × 被保険者数
	2割	43万円 + 53.5万円 × 被保険者数	⇒	43万円 + <u>54.5万円</u> × 被保険者数

軽減適用の上限 (例)3人世帯 給与収入の場合	7割	98万円	⇒	変更なし
	5割	197.2万円未満	⇒	<u>199.6万円未満</u>
	2割	302.4万円未満	⇒	<u>306.8万円未満</u>

### ◆見直しの概略図



【参考】本市被保険者への影響（R5 本算定時における被保険者の状況[所得・世帯構成等] 及び 保険料率で試算）

### ■ I 賦課限度額見直しに伴う保険料の増減等

		支援金分
①	保険料増となる世帯数（従前の限度額超過世帯数）	57 世帯
	⇒ 改定に伴う保険料増加見込額	18,700 円/世帯
②	保険料減となる世帯数	4,609 世帯
	⇒ 改定に伴う保険料軽減見込額	231 円/世帯
※	改定後の限度額超過世帯数	49 世帯

### ■ II-1 軽減区分変更となる世帯の保険料

	軽減区分 (改正前⇒後)	給与収入	所得	年間保険料 (円)		
				改正前	改正後	影響額
1人世帯 (介護該当)	2割 ⇒ 5割	127.5万円	72.5万円	97,440	76,280	▲21,160
	なし ⇒ 2割	152.5万円	97.5万円	146,320	132,190	▲14,130
3人世帯 (うち2人介護該当)	2割 ⇒ 5割	199.5万円	131.4万円	241,130	196,800	▲44,330
	なし ⇒ 2割	306.7万円	206.4万円	375,000	345,380	▲29,620

### ■ II-2 軽減対象世帯数

・5割軽減 … 2,110 世帯 ⇒ 2,147 世帯 (+37) ・2割軽減 … 1,273 世帯 ⇒ 1,272 世帯 (-1)

◎室蘭市国民健康保険料 賦課限度額の推移

(単位：円)

年度	1. 医療分		2. 後期高齢者支援分		3. 介護分		合計(1+2+3)	
	限度額	前年度比	限度額	前年度比	限度額	前年度比	限度額	前年度比
H26	510,000	0	160,000	20,000	140,000	20,000	810,000	40,000
H27	520,000	10,000	170,000	10,000	160,000	20,000	850,000	40,000
H28	540,000	20,000	190,000	20,000	160,000	0	890,000	40,000
H29	540,000	0	190,000	0	160,000	0	890,000	0
H30	580,000	40,000	190,000	0	160,000	0	930,000	40,000
R1	610,000	30,000	190,000	0	160,000	0	960,000	30,000
R2	630,000	20,000	190,000	0	170,000	10,000	990,000	30,000
R3	630,000	0	190,000	0	170,000	0	990,000	0
R4	650,000	20,000	200,000	10,000	170,000	0	1,020,000	30,000
R5	650,000	0	220,000	20,000	170,000	0	1,040,000	20,000
R6	650,000	0	240,000	20,000	170,000	0	1,060,000	20,000